

SecureCube / Labeling

FAQ集

Document Version 1.5.0.2

Last Update 2011/12/01



極秘

- 本マニュアルに関する著作権は、NRIセキュアテクノロジーズ株式会社へ独占的に帰属します。NRIセキュアテクノロジーズ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず本マニュアルまたはその一部を複製することは禁じられています。
- 本マニュアルの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本マニュアルの記述に誤りや欠落があってもNRIセキュアテクノロジーズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
- 本マニュアルおよびその記述内容は予告なしに変更されることがあります。
- 本マニュアルは 2011 年 12 月現在の情報をもとに作成されたものです。今後、価格の変更、仕様の変更、バージョンアップ等により、内容の全部もしくは一部に変更が生じる可能性があります。
- **SecureCube / Labeling** は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。
- 本マニュアルに記載の会社名・商品名・ロゴマーク等は各社の日本および他国における商標または登録商標です。

Copyright © 2009-2011 NRI SecureTechnologies, Ltd. All Rights Reserved.

目次

目次	3
1 はじめに	7
1.1 はじめに	7
1.2 用語の定義	7
2 SecureCube / Labeling とは	8
2.1 SecureCube / Labeling について教えてください	8
2.2 どのようなユーザーが SecureCube / Labeling を検討していますか？	8
2.3 製品ラインナップを教えてください	9
2.4 対応している Microsoft Office のバージョンを教えてください	10
2.5 対応しているファイル形式を教えてください	10
2.6 対応ファイルは今後増えますか？	10
2.7 機能の一覧を教えてください	11
2.8 一台のマシンに複数のバージョンの Office をインストールしている環境で SecureCube / Labeling は動作しますか？	12
2.9 以前のバージョンで作成したファイルを開くとどうなりますか？	12
2.10 64 ビット クライアント OS には対応していますか？	12
2.11 Office 2010 64 ビット版には対応していますか？	12
2.12 日本語以外の OS に対応する予定はありますか？	12
2.13 日本語以外の Office、例えば英語版・中国語版の Office には対応していますか？	12
2.14 SecureCube / Labeling は他のデスクトップアプリケーションに干渉しますか？	12
2.15 他社製品との連携について教えてください	13
3 SecureCube / Labeling について (Edition 共通)	14
3.1 使用方法について	14
3.1.1 いつどのようにしてラベルを設定するのですか？	14
3.1.2 ラベルを設定せずにファイルを保存することはできますか？	14
3.1.3 既存ファイルの上書き保存時に毎回ラベルを設定しなくてはならないのですか？	14
3.1.4 表示されているラベルイメージを削除した場合どうなりますか？	14
3.1.5 「極秘」ラベルを設定したファイルをエクスプローラーでコピーしました。コピーされたファイルにはラベルが設定されていますか？	14
3.1.6 ラベルのカスタマイズは可能ですか？	14
3.1.7 ラベルに加えて任意の情報を追加で設定することはできますか？	15
3.1.8 ラベルの表示位置は変更できますか？	15
3.1.9 ラベルを設定したファイルを、SecureCube / Labeling がインストールされていないコンピュータで開いた場合、ラベルはどうなりますか？	15
3.1.10 外部に送付する際にラベルを非表示にすることができますか。	15
3.1.11 設定したラベルを後から交換することはできますか？	16
3.1.12 メールでラベルを設定したファイルを送付しましたが、先方でも SecureCube / Labeling を使用してい	

ました。先方でそのファイルのラベル交換を行った場合、どちらのラベルテンプレートが使用されますか？	16
3.1.13 設定されたラベルは、後から誰でも交換できるのですか？	16
3.1.14 各利用者のラベル設定ルールを統一するにはどのような方法がありますか？	16
3.2 管理台帳について	17
3.2.1 管理台帳とは何ですか？	17
3.2.2 管理台帳で作成できる内容を教えてください	18
3.2.3 個人管理台帳から、パスワードロックされているファイルへのラベル設定はできますか？	19
3.2.4 圧縮されているファイルは、管理台帳に記載されますか？	19
3.3 インストール・アンインストールについて	19
3.3.1 クライアントのインストールにはどの程度時間が必要ですか？	19
3.3.2 クライアントのインストール要件を教えてください。	19
3.3.3 複数のマシンへ一括インストールすることは可能ですか？	19
3.3.4 「Office 2003、2007、または 2010 をインストールしておく必要があります」と表示されたのですが、どうしたらよいですか？	20
3.3.5 アンインストールしたら、個々のファイルに設定したラベルは消えてしまいますか？	20
3.3.6 アンインストールした後もフォルダが残っています	20
4 SecureCube / Labeling Standard について	21
4.1 SecureCube / Labeling Standard について教えてください	21
4.2 SecureCube / Labeling Enterprise との違いを教えてください	21
4.3 SecureCube / Labeling Standard のシステム要件を教えてください	21
4.4 SecureCube / Labeling Standard Windows サーバーオプションとは何ですか？	21
4.5 SecureCube / Labeling Standard Windows サーバーオプションのシステム要件を教えてください	21
4.6 NAS で利用できますか？	22
4.7 ラベルテンプレート配信やソフトウェア更新はどのように行うのですか？	22
5 SecureCube / Labeling Enterprise について	23
5.1 SecureCube / Labeling Enterprise について教えてください	23
5.2 SecureCube / Labeling Enterprise の導入にあたり準備は必要ですか？	23
5.3 動作環境について	23
5.3.1 SecureCube / Labeling Enterprise Server のシステム要件を教えてください	23
5.3.2 管理サーバーのインストールにどの程度時間が必要ですか？	23
5.3.3 管理サーバーは、64 ビット OS には対応していますか？	23
5.3.4 管理サーバーは仮想化環境で稼働しますか？	24
5.3.5 SQL Server の選択基準を教えてください	24
5.3.6 管理サーバーのサイジングは何を基準に行うのですか？	24
5.3.7 リモート検索の対象に指定できるファイルサーバーについて教えてください。	24
5.3.8 リモート検索の対象ディレクトリのアクセス権限について教えてください	24
5.3.9 複数の管理サーバーを統合する機能はありますか？	24
5.4 運用について	25

5.4.1	一般ユーザーと管理者ユーザーが使用するエディションを教えてください	25
5.4.2	管理サーバーの設定はどの様に行いますか？	25
5.4.3	取得できる操作ログの種類を教えてください	25
5.4.4	クライアントと管理サーバーの通信方法を教えてください	25
5.4.5	クライアントへのモジュール配布方法について教えてください。	25
5.4.6	クライアントが、管理サーバーへログを送信するタイミングを教えてください。	25
5.4.7	管理サーバーの IP アドレスを変更した場合の影響を教えてください	26
5.4.8	管理サーバーのホスト名を変更した場合の影響を教えてください	26
5.4.9	自動メール通知機能について教えてください	26
5.4.10	統合管理台帳からクライアントのファイルのラベルを直接変更することはできますか？	26
5.4.11	統合管理台帳とログ参照機能は、ユーザーごとに閲覧範囲を制限できますか？	26
5.4.12	エクスプローラー拡張機能について教えてください	26
6	PDF ファイルへのラベル設定について	27
6.1	PDF ファイルへのラベル設定について	27
6.2	PDF ファイルへのラベル設定を行う場合には、SecureCube / Labeling のどのバージョンを購入する必要がありますか？	27
6.3	PDF ファイルへラベル設定する際の操作性について教えてください	27
6.4	SecureCube / Labeling Personal for PDF のバージョン確認方法を教えてください	27
6.5	Office でラベル設定したファイルを PDF に変換した場合、ラベル情報は引き継がれますか？	27
6.6	ラベルが二重に設定されているように見えます	27
6.7	Adobe Acrobat で PDF ファイルを開いたら、色がくすんで(灰色がかって)表示されます	27
7	他社製品との連携について	28
7.1	ファイル内に設定されている連携文字を確認する方法を教えてください。	28
7.2	連携文字を設定するにはどうすればよいのですか？	28
7.3	連携できる製品を教えてください	29
8	申込・契約等について	32
8.1	試用したいのですが、どうすればよいのですか？	32
8.2	試用期間を終了した後、そのまま製品版として利用することは可能ですか？	32
8.3	詳しい話を聞きたいのですが、どうすればよいのですか？	32
9	サブスクリプションについて	33
9.1	サブスクリプションの定義を教えてください。	33
9.2	1つのサブスクリプションにおいて、複数の管理サーバーをインストールしてもいいですか？(例：部門ごとに管理サーバーをインストールする、など)	33
9.3	1000人の社員がいますが、SecureCube / Labeling を利用するユーザーが100人の場合、購入すべきサブスクリプション契約はいくつですか？	33
9.4	SecureCube / Labeling Enterprise 管理サーバーについて、サブスクリプションとは別にライセンス等を購入する必要がありますか？	34
9.5	2年目以降のサブスクリプション価格はどうなっていますか？	34

9.6	複数年分のサブスクリプションをまとめて購入することは可能ですか？	34
9.7	SecureCube / Labeling Personal のライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。	34
9.8	SecureCube / Labeling Standard のライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。	35
9.9	SecureCube / Labeling Enterprise のライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。	35
10	サポートについて	36
10.1	サポートの時間や方法について教えてください。	36
10.2	SecureCube / Labeling 導入後のサポートには、オンサイトサポートメニューはありますか？	36
10.3	SecureCube / Labeling Personal (無償版) を利用しておりますが、製品に関する問い合わせを NRI セキュアテクノロジーズに行えますか？	36
10.4	SecureCube / Labeling を契約した場合は、それぞれの利用者から直接 NRI セキュアテクノロジーズに問い合わせることはできますか？	36
10.5	各バージョンのサポート終了ポリシー (EoS ポリシー) を教えてください。	37
10.6	ラベルテンプレートのカスタマイズを依頼することはできますか？	37
10.7	導入にかかる費用はどのくらいですか？	37

1 はじめに

1.1 はじめに

本書は、SecureCube / LabelingについてまとめたFAQ集です。導入を検討するにあたり、大まかに製品の内容を把握していただくことを目的としています。

1.2 用語の定義

本書では、以下の略称・総称を使用して説明している箇所があります。必要に応じて適宜読み替えてください。

総称	説明
SecureCube / Labeling	SecureCube / Labelingの全製品の総称です。
クライアント	以下の製品をインストールしたマシンで、ユーザー端末の総称です。 SecureCube / Labeling Personal SecureCube / Labeling Standard Client SecureCube / Labeling Standard Admin SecureCube / Labeling Enterprise Client SecureCube / Labeling Enterprise Admin
管理サーバー	以下の製品をインストールしたマシンを意味します。 SecureCube / Labeling Enterprise Server

2 SecureCube / Labelingとは

2.1 SecureCube / Labelingについて教えてください

SecureCube / Labelingは「情報資産の把握」・「リスクレベルの識別」・「ルールの統一」を簡素化し、Microsoft OfficeやPDFに代表される電子ファイルの管理を確実かつ容易にするために、NRIセキュアテクノロジーズ（以下、NRIセキュア）が開発したツールです。

組織内には多数の情報資産（電子ファイル）が存在していますが、その1つ1つの所在の把握や、重要度の識別などを行うにはかなりの労力がかかります。そこでSecureCube / Labelingは、電子ファイルに重要度等を定義する「ラベル」を手軽に設定する機能を提供する事により、無理なく、かつ精度の高い情報管理を支援いたします。また、電子ファイル保存時に、必ず何らかのラベルを設定しないとファイルが保存できない仕様により、ラベル設定ルールを徹底することができます。

ラベル情報は、見た目に表示されているイメージ以外に、メタ情報として本文内とプロパティに格納されており、この情報を利用することで、多角的な視点で情報を管理したり、他社の製品と連携して精度の高いファイル制御を行うといった事が可能となります。

2.2 どのようなユーザーがSecureCube / Labelingを検討していますか？

業種や企業様により風土もルール違いますが、本製品をご検討いただくに至った経緯の一部ご紹介いたします。

- ・個人情報保護法の遵守要件を満たすため
- ・情報漏えい対策(DLP、メール、プリンターソリューションなど)導入に向けたインフラ基盤として
- ・ISMS取得/維持や、監査対応コストを削減したい
- ・取引先・親会社・監督官庁からの機密情報管理の報告書提出要請に対応するため
- ・ファイルサーバーの容量削減にあたり、不要ファイルを特定するため
- ・文書管理状況を定点監視するため
- ・社員のセキュリティ意識の向上のため
- ・セキュリティへの取り組み姿勢を社内外へアピールするため

2.3 製品ラインナップを教えてください

SecureCube / Labelingには、以下の製品がございます。

SecureCube / Labeling Personal :

ラベル設定・個人ファイル管理台帳の作成など基本的な操作を行うことができます。本エディションには、無償版と有償版があり、無償版はいくつかの機能制限がありますが(※)、NRIセキュアのホームページにて無償で提供しております。

有償版は機能制限が開放されるほか、ユーザーサポートが提供される、必要に応じてPDFへのラベル設定を行う「SecureCube / Labeling Personal <PDF Plug-in>」「SecureCube / Labeling Personal for PDF」を追加で契約して利用できる、といったメリットがあります。

※機能制限の詳細につきましては、弊社営業または販売パートナー様までご連絡ください

SecureCube / Labeling Standard :

SecureCube / Labeling Personalの基本機能に加え、ファイルサーバーの管理台帳を作成する機能と、いくつかの機能拡張・管理支援用ユーティリティ機能を持つエディションです。管理サーバーレスで運用を開始できる手軽さから比較的小中規模ユーザー向けのエディションとなっております。

本エディションは評価版もご用意しております（機能制限無し、60日間利用限定）。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

SecureCube / Labeling Enterprise :

SecureCube / Labelingの最上位エディションで、下位エディションの全機能を包含しています。このエディションでは管理サーバーを利用する事により、ファイルサーバーやPCを含めた社内のファイル情報と操作ログを一元管理できます。また、豊富な機能拡張・管理支援用ユーティリティ機能を含むため、統合的な管理を必要とするユーザー向けのエディションとなっております。

【PDF対応製品】

SecureCube / Labeling Personal <PDF Plug-in> :

SecureCube / Labeling Personal <PDF Plug-in>は、PDFファイルへのラベル設定を可能とするAdobe Acrobat用のプラグインです。別途、Adobe Acrobat 8または9のStandard/Proエディションが必要となります。

SecureCube / Labeling Personal for PDF :

SecureCube / Labeling Personal for PDFは、PDFファイルへのラベル設定を可能とするスタンドアロンのアプリケーションです。Adobe Acrobatをお持ちでないお客様へのオプション機能となります。

2.4 対応している Microsoft Office のバージョンを教えてください

以下のOffice製品に対応しています。(2011年7月現在)

Microsoft Office 2000 ※

Microsoft Office XP ※

Microsoft Office 2003

Microsoft Office 2007

Microsoft Office 2010

※Microsoft Office 2000/XPは、SecureCube / Labeling Enterpriseでのみご利用いただけます

2.5 対応しているファイル形式を教えてください

以下のファイル形式に対応しています。(2011年7月現在)

Microsoft Excel で作成した拡張子「xls または xlsx」のファイル

Microsoft Word で作成した拡張子「doc または docx」のファイル

Microsoft PowerPointで作成した拡張子「pptまたはpptx」のファイル

Adobe Acrobat 8 または 9 で作成した拡張子「pdf」のファイル

2.6 対応ファイルは今後増えますか？

お客様から頂いたご要望を基に、適宜検討いたします。

2.7 機能の一覧を教えてください

簡易的な機能の一覧は以下の通りです。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

項目	SecureCube / Labeling			
	Personal(無償)	Personal	Standard	Enterprise
ライセンス	なし	有償	有償	有償
サポート	なし	あり	あり	あり
利用期限	なし	一年更新	一年更新	一年更新
ラベル設定	○	○	○	○
ラベル作成	○	○	○	○
ラベル定義編集	×	○	○	○
Officeファイル 対応	○	○	○	○
PDF対応	×	○	○	○
個人ファイル 管理台帳作成	○※1	○※1	○	○
ファイルサーバ 管理台帳	×	×	○	○
全社統合 管理台帳作成	×	×	○	○
エクスプローラ 一拡張機能	×	×	○	○
モジュール 管理	×	×	○※2	○※3
操作ログ閲覧	×	×	×	○
Active Directory 連携機能	×	×	×	○
メール通知機能	×	×	×	○
使用目的	評価用	情報資産の格付け	情報資産の格付け 情報資産の分類	情報資産の格付け 情報資産の分類 統制対応

※1：ネットワークパスの管理台帳は作成できません

※2：クライアントで手動実行する必要があります

※3：管理サーバーからの自動配信に対応しています

2.8 一台のマシンに複数のバージョンの Office をインストールしている環境で SecureCube / Labeling は動作しますか？

動作することは確認しておりますが、複数バージョンのOffice(2003 と 2007 等)の同時利用はMicrosoft社自身も推奨しておらず、弊社としても推奨いたしかねます。

2.9 以前のバージョンで作成したファイルを開くとどうなりますか？

当該ファイルを開こうとしているPCにインストールされているSecureCube / Labelingのバージョンが、当該ファイルにラベル設定したSecureCube / Labelingのバージョンより、

- (1) 新しい場合、問題なく使用できます。
- (2) 古い場合、エラーまたは最新へアップデートを促すメッセージが表示されます。

※バージョンにより挙動が異なる場合があります。

2.10 64 ビット クライアント OS には対応していますか？

時期未定ですが、正式対応にむけて動作確認をしております。

2.11 Office 2010 64 ビット版には対応していますか？

現在是对应しておりません。

2.12 日本語以外の OS に対応する予定はありますか？

時期未定ですが、英語・中国語を始めとした多言語OSに今後対応していく方針です。

2.13 日本語以外の Office、例えば英語版・中国語版の Office には対応していますか？

動作することは確認しておりますが、フォントの差異などから十全な動作とならない事もあり、現時点においては弊社として利用については推奨いたしかねます。

2.14 SecureCube / Labeling は他のデスクトップアプリケーションに干渉しますか？

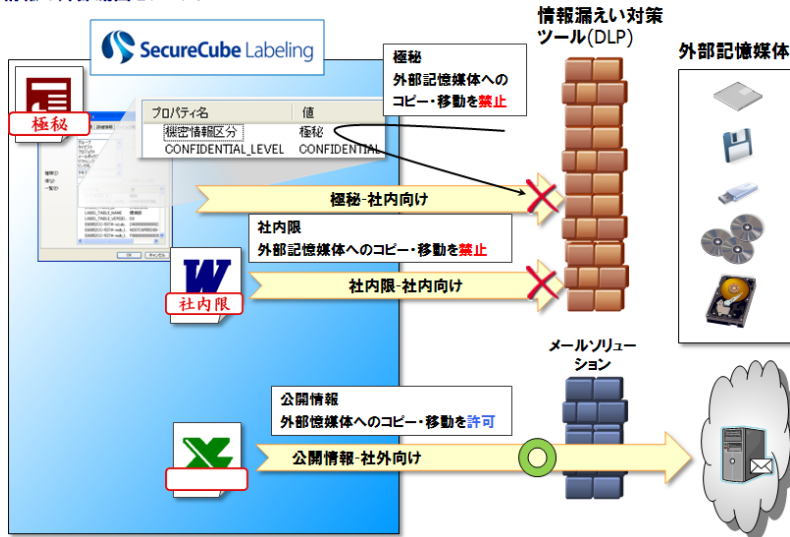
SecureCube / Labelingの主な機能はMicrosoft Officeのアドイン、またはAdobe Acrobatのプラグインとして提供されるため、Word, Excel, PowerPoint, Acrobat以外のデスクトップアプリケーションに干渉することはありません。

2.15 他社製品との連携について教えてください

ラベルを設定したファイルには、表示されているイメージ以外に、本文内とプロパティにメタ情報が格納されています。この情報を利用することで、多角的な視点で情報を管理したり、他社の製品と連携して精度の高いファイル制御を行うといった事が可能となります。連携機能の詳細は、[28 ページ 7 他社製品との連携について]をご確認ください。

<連携機能の概要イメージ>

◆DLP製品との連携 ⇒ 電子ファイルの重要度に応じて、自動的にセキュリティポリシーを実行し、リアルタイムに重要情報の外部流出をブロック



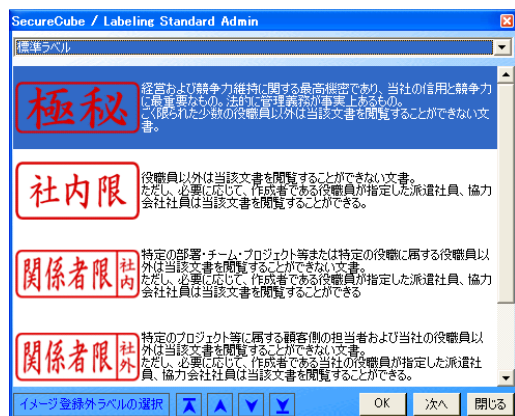
3 SecureCube / Labeling について (Edition共通)

3.1 使用方法について

3.1.1 いつどのようにしてラベルを設定するのですか？

いつ：ファイルの新規保存または既存ファイルの上書き保存時

どのようにして：表示されるダイアログにて任意のラベルを選択し、OKをクリックまたはダブルクリック



3.1.2 ラベルを設定せずにファイルを保存することはできますか？

できません。必ず何らかのラベルを設定する必要があります。

3.1.3 既存ファイルの上書き保存時に毎回ラベルを設定しなくてはならないのですか？

既にラベルが設定されているファイルでは、ラベル設定画面は表示されず、そのまま保存できます。また、一度設定したラベルを交換する場合は、「ラベル交換」機能により容易に変更可能です。

3.1.4 表示されているラベルイメージを削除した場合どうなりますか？

表示されているラベルイメージは、それ自体はOfficeのオブジェクトファイルです。選択することも位置を変えることも削除することもできますが、上書き保存時に必ず所定の位置に書き戻されます。

3.1.5 「極秘」ラベルを設定したファイルをエクスプローラーでコピーしました。コピーされたファイルにはラベルが設定されていますか？

はい。コピーされたファイルには元と同じ「極秘」のラベルが設定されています。

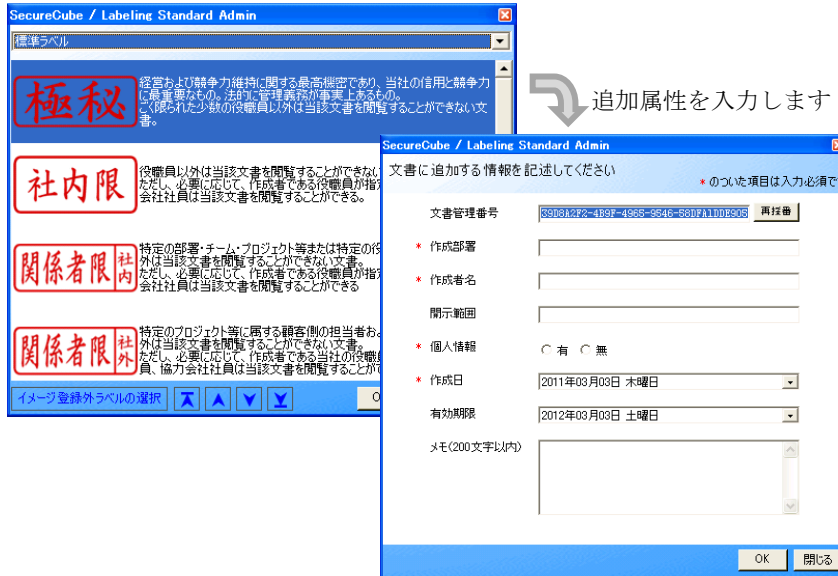
3.1.6 ラベルのカスタマイズは可能ですか？

はい。可能です。GUIによる簡単操作で柔軟にカスタマイズできます。なお本機能はSecureCube / Labeling StandardおよびEnterpriseにおいては管理者向けクライアントに実装されており、一般ユーザー向けクライアントではカスタマイズはできない仕様となっています。

※SecureCube / Labeling Personal (無償版) では、機能制限のため、ラベル情報のカスタマイズを行うことはできません。

3.1.7 ラベルに加えて任意の情報を追加で設定することはできますか？

はい。ラベル設定時に、所属、名前、有効期限などを追加属性として入力する「属性追加機能」がございます。また、所定のラベルを選択した場合は、所定の追加属性を入力しないとファイルを保存できないようにする、という設定も可能です。(例：「極秘」の文書は、「有効期限」を定めなくてはならない)



※属性追加機能は、SecureCube / Labeling Standard および Enterpriseで利用可能です。

3.1.8 ラベルの表示位置は変更できますか？

はい。可能です。ただし、アプリケーションによって、変更できる個所が異なります。また、PowerPointのみページごとに設定することが可能です。

種別	表示位置の変更	ページごとの設定
Word	○ (既定値としての設定は不可)	×
Excel	○ (左側・真中・右側から選択)	×
PowerPoint	○ (任意の場所を選択可能)	○

3.1.9 ラベルを設定したファイルを、SecureCube / Labelingがインストールされていないコンピュータで開いた場合、ラベルはどうなりますか？

表示されているラベルイメージは、それ自体は1つのOfficeオブジェクトであるため表示されます。ただし、ラベルを変更することはできません。

3.1.10 外部に送付する際にラベルを非表示にすることができますか。

はい。可能です。ラベル情報を残したまま、ラベルイメージだけを非表示にする「ラベル非表示ボタン」を用意しています。

3.1.11 設定したラベルを後から交換することはできますか？

はい。可能です。ツールバーまたはリボンから、「ラベル交換」をクリックしてください。

3.1.12 メールでラベルを設定したファイルを送付しましたが、先方でもSecureCube / Labeling を使用していました。先方でそのファイルのラベル交換を行った場合、どちらのラベルテンプレートが使用されますか？

先方のラベルテンプレートが使用されます。例えば、A社で「極秘」ラベルを設定したファイルを送付します。B社に届いた時点ではA社の「極秘」ラベルが設定されていますが、ここでラベル交換を行った場合は、B社のラベルテンプレートで設定しなおすことになります。また、仮にB社でも「極秘」というラベルがあったとしても、A社から受領した「極秘」文書と、B社が作成した「極秘」文書は、管理上分けて認識されます。

3.1.13 設定されたラベルは、後から誰でも交換できるのですか？

ラベル交換はSecureCube / Labeling をインストールしているコンピュータであれば、誰でも後から変更することができます。逆に言うと、基本的にはラベル変更を制限することはできません。同様にラベルの非表示化、削除も可能です。(2011年7月現在)

※SecureCube / Labelingの機能ではありませんが、編集を制限するOffice / Acrobatの機能により、保護が可能なケースもあります

3.1.14 各利用者のラベル設定ルールを統一するにはどのような方法がありますか？

クライアントのテンプレートインポート機能を利用する方法と、管理サーバーを使った配信の2種類があります。前者はSecureCube / Labeling Personal (無償版)を除くバージョンで利用可能ですが、インポートファイルの配布やインポート機能の手動実行が必要となります。後者はSecureCube / Labeling Standard およびEnterpriseのモジュール管理機能を利用し、Standardでは手動ですがより容易に、Enterpriseでは自動的に、ラベル設定ルールを統一することが可能です。

3.2 管理台帳について

3.2.1 管理台帳とは何ですか？

管理台帳とは、検索対象のフォルダおよびサブフォルダ内に存在するファイルの一覧です。管理台帳は、個人管理台帳、ファイルサーバー管理台帳、統合管理台帳の3種類があります。

- ・ 個人管理台帳

個人管理台帳は、ローカルパスを指定して作成する管理台帳です。作成した管理台帳上から直接ラベル設定・ファイル移動を行う機能もあります。

- ・ ファイルサーバー管理台帳

ファイルサーバー管理台帳は、ネットワークパスを指定して作成する管理台帳です。また、オプション機能として提供されるエージェントにより、ファイルサーバー内部のファイル情報を自動的に検索して台帳を作成する事も可能です。この場合検索結果はデータベースに蓄積されるため、リアルタイムの検索なしに瞬時に台帳を作成できるメリットがあります。

※本機能は、SecureCube / Labeling Standard、およびそのオプション機能として提供されます。

- ・ 統合管理台帳

統合管理台帳は、各クライアントから集めた個人管理台帳と、ファイルサーバー管理台帳を集約した管理台帳です。クライアントとファイルサーバーから定期的にファイル情報を収集しデータベースに蓄積します。これにより、社内に散在するファイル情報を一元管理することが可能です。

※本機能は、SecureCube / Labeling Enterpriseとして提供されます。

3.2.3 個人管理台帳から、パスワードロックされているファイルへのラベル設定はできますか？

パスワードロックされているファイルへのラベル設定はできません。

3.2.4 圧縮されているファイルは、管理台帳に記載されますか？

圧縮されているファイル（アーカイブされているファイル）は、管理台帳に記載されません。

3.3 インストール・アンインストールについて

3.3.1 クライアントのインストールにはどの程度時間が必要ですか？

クライアントのインストール自体は非常に簡単で、各端末上でのインストールは3分程度あれば完了します。

3.3.2 クライアントのインストール要件を教えてください。

クライアントのインストール要件は以下の通りです

SecureCube / Labeling 各種クライアント 動作環境	
OS	Microsoft Windows XP 各エディション Microsoft Windows Vista 各エディション Microsoft Windows 7 各エディション
Office	Microsoft Office 2000 Word、Excel、PowerPoint ※ Microsoft Office XP Word、Excel、PowerPoint ※ Microsoft Office 2003 Word、Excel、PowerPoint Microsoft Office 2007 Word、Excel、PowerPoint Microsoft Office 2010 Word、Excel、PowerPoint ※SecureCube / Labeling Enterpriseでのみ利用可能です
CPU	x86 アーキテクチャで上記OS、アプリケーション製品が稼動するCPU
メモリ	上記 OS、アプリケーション製品が稼動するメモリ
HDD 空き容量	400 MB 以上推奨
.NET Framework	.NET Framework 2.0（インストーラ内で自動適用されます）

3.3.3 複数のマシンへ一括インストールすることは可能ですか？

SecureCube / Labeling の機能として一括インストールを行う機能はありません。資産管理ツールやActive Directoryの機能を利用して配布を行うことをお勧めします。なお、サイレントインストール（バックグラウンド処理による自動インストール）には対応しております。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

3.3.4 「Office 2003、2007、または 2010 をインストールしておく必要があります」と表示されたのですが、どうしたらよいですか？

SecureCube / Labelingをご利用いただくためには、「Office2003 (Word、Excel、PowerPoint)」「Office2007 (Word、Excel、PowerPoint)」「Office2010 (Word、Excel、PowerPoint)」のいずれかがインストールされている必要があります。いずれかのソフトをインストールしたうえで、再度SecureCube / Labelingのインストールを行ってください。

3.3.5 アンインストールしたら、個々のファイルに設定したラベルは消えてしまいますか？

ラベルはSecureCube / Labelingアプリケーションが保持しているのではなく、個々のファイル内部に保存されます。このため、SecureCube / Labelingをアンインストールしても、個々のファイルからラベルが消えることはありません。

3.3.6 アンインストールした後もフォルダが残っています

アンインストールした後も、一部の設定ファイルとログが残ります。完全な削除を行いたい場合は、アプリケーションのアンインストール後に、

[C:¥Program Files¥NRI SecureTechnologies¥SecureCube_Labeling_XXXX¥]※

(XXXXの部分はインストールされているEditionにより異なります)

の削除を行ってください。

※レジストリについてはアンインストールを行っても一部の項目は削除されません。

4 SecureCube / Labeling Standard について

4.1 SecureCube / Labeling Standardについて教えてください

Personalエディションと比較して、個人管理台帳だけでなく、ファイルサーバー管理台帳を作成することができます。また、Enterpriseエディションと比較して、管理サーバー(※)を導入することなく、ファイルサーバーのみで社内のラベルのポリシーを統一して運用することが可能です。さらに、オプション機能の「SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプション」を追加でご購入いただきますと、ファイルサーバー管理台帳を自動で作成し、データベース化することができます。

※クライアントのデータ収集、集積された情報の検索、モジュールやテンプレートの配信など、管理機能を搭載したSecureCube / Labeling Enterpriseのサーバソフトウェアおよびマシンを指します。

SecureCube / Labeling Standardは管理サーバーが不要なため、中小規模のお客様や部門単位での導入を考慮したお客様、クライアントマシンの管理台帳や操作ログの管理が必要でないお客様に適した、低コストで導入可能なエディションです。

4.2 SecureCube / Labeling Enterpriseとの違いを教えてください

[11 ページ 2.7 機能の一覧を教えてください]をご確認ください。

4.3 SecureCube / Labeling Standardのシステム要件を教えてください

「全PCがアクセスできるファイルサーバーのディレクトリが存在すること」となります。アクセスの方法はwindowsファイル共有プロトコルとなりますので、このプロトコルに対応している限りではファイルサーバーのOS種別は問われません。

4.4 SecureCube / Labeling Standard Windows サーバーオプションとは何ですか？

SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプションは、ファイルサーバー自身のファイル台帳を自動で作成するためのオプションモジュールです。利用するには、ファイルサーバーがWindowsサーバーOSである必要があります。

4.5 SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプションのシステム要件を教えてください

SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプションのシステム要件は、以下のとおりです。

SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプション 動作環境	
OS	Windows Server 2003 (R2) Standard/Enterprise Windows Server 2008 (R2) Standard/Enterprise Windows Storage Server 2003 R2 Workgroup Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup
データベース	Microsoft SQL Server 2008 (R2) Express/Standard/Enterprise ※Windows Storage Server の場合は、Express Edition のみ利用可能です

4.6 NASで利用できますか？

はい。Windows Storage Server 2003 /2008 が搭載されているNASで稼動します。別途SQL Server 2008 Express EditionまたはSQL Server 2008 R2 Express Edition※のインストールが必要です。

※Windows Storage Serverのライセンス上、SQL Server Express Edition以外は利用できません。

4.7 ラベルテンプレート配信やソフトウェア更新はどのように行うのですか？

システム管理者がラベルテンプレートや更新ソフトウェアをあらかじめファイルサーバーに配置します。各ユーザーはOffice上のアイコンを操作してこれらモジュールをダウンロードして適用します。

※SecureCube / Labeling Enterpriseをご導入いただく事により、ユーザー自身の作業を完全に排して、モジュール管理を行う事もできます

5 SecureCube / Labeling Enterprise について

5.1 SecureCube / Labeling Enterpriseについて教えてください

SecureCube / Labeling Enterpriseには他のエディションには無い以下の特徴があります。

- 1.PCやファイルサーバーに散在するファイル情報の一元管理が可能になり、従来手作業で行われていた作業の負荷軽減と、管理台帳の鮮度を常に最新の状態に保つことが可能となります。
- 2.クライアント上で行われたファイル操作(開く・保存・印刷・ラベル変更)を記録し、Webコンソールから検索することが可能になります。万が一事故が発生した場合の証跡となるうえ、一定の抑止効果も期待できます。
3. クライアント上の定義ファイル差し替えやアプリケーションのバージョンアップを自動で行うことが可能です。これにより、社内の運用ルールを例外なく統一して運用することが可能です。
- 4.エクスプローラー拡張機能、自動メール通知機能、AD連携機能といったユーティリティが利用可能です。
5. Office 2000 / XP対応モジュールを利用することが可能です。

5.2 SecureCube / Labeling Enterprise の導入にあたり準備は必要ですか？

導入をより効果的にするには、文書管理規定の策定・見直しが必要な場合があります。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

5.3 動作環境について

5.3.1 SecureCube / Labeling Enterprise Server のシステム要件を教えてください

SecureCube / Labeling Enterprise管理サーバーが稼動するシステム要件は、以下のとおりです。

SecureCube / Labeling Enterprise 管理サーバー 動作環境	
OS	Windows Server 2003 (R2) Standard/Enterprise Windows Server 2008 (R2) Standard/Enterprise Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup
CPU	x86 アーキテクチャで 2 GHz 以上の CPU を推奨
メモリ	2 GB 以上 (推奨 4GB 以上)
HDD	50 GB 以上
データベース	Microsoft SQL Server 2008 (R2) Express/Standard/Enterprise

5.3.2 管理サーバーのインストールにどの程度時間が必要ですか？

OSがインストール済みの状態で、管理サーバーのインストールは、5時間程度必要です。

5.3.3 管理サーバーは、64 ビット OS には対応していますか？

はい、対応しております。

5.3.4 管理サーバーは仮想化環境で稼働しますか？

基本的に、仮想化環境で動作対象のOSを稼働することが可能であれば、SecureCube / Labelingを稼働させることは可能であると考えられます。現在、以下の仮想化環境で動作することを確認しております。

VMware ESX4/ESXi4、Hyper-V、XenDesktop、VirtualBOX

5.3.5 SQL Server の選択基準を教えてください

SQL Serverは、無償版のExpress Editionと有償のStandard/Enterprise Edition が利用可能です。Microsoft SQL Server 2008/R2 Express Editionは、ソフトウェア自体が無償かつCALフリーである点が費用的には優位ですが、CPU1基、メモリ1GB、データベースサイズの最大値10GBの物理リソース制限があります（ハードウェアリソースが潤沢であってもこの制限を越えて使用することはできません）。利用規模に応じたデータベースを選択していただく必要があります。大規模環境のサイジングにつきましては、個別相談とさせていただきますので、詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

5.3.6 管理サーバーのサイジングは何を基準に行うのですか？

管理サーバーのサイジングは、対象ファイルの総数（クライアントの対象ファイル保持数+ファイルサーバーの対象ファイル保持数）を基準にします。ユーザー数では無い点に注意してください。例えば、社員が100名でそれぞれ対象ファイルを1,000ファイル保持、ファイルサーバーが4台でそれぞれ対象ファイルを10万ファイル保持であった場合、対象ファイルの総数は50万ファイルとなります。対象ファイルについては、[10ページ 2.5 対応しているファイル形式を教えてください]を参照してください。

5.3.7 リモート検索の対象に指定できるファイルサーバーについて教えてください。

リモート検索のアクセスの方法はwindowsファイル共有プロトコルとなりますので、このプロトコルに対応しているファイルサーバーであれば対象に指定可能です。例えばWindows Server シリーズ、NAS、samba(Linux,Solaris)等が挙げられます。管理サーバーからエクスプローラーでアクセス可能かどうか、によっても確認可能です。

5.3.8 リモート検索の対象ディレクトリのアクセス権限について教えてください

リモート検索機能のご利用には、リモート検索用のアカウントをご用意いただく事になりますが、そのアカウントから当該ディレクトリへの読取処理が可能であることが必須となります。例えば、ファイルサーバーA、ファイルサーバーBのルートディレクトリ以下全てを検索する場合、リモート検索サービスに設定する実行アカウントは、それぞれのルートディレクトリに読み取り可能なアクセス権を持つユーザーである必要があります。

5.3.9 複数の管理サーバーを統合する機能はありますか？

2011年7月現在、統合管理する機能はありません。

5.4 運用について

5.4.1 一般ユーザーと管理者ユーザーが使用するエディションを教えてください

一般ユーザーはSecureCube / Labeling Enterprise Client、管理者ユーザーはSecureCube / Labeling Enterprise Adminを使用します。両者の違いは、ラベルの定義を変更できる機能が搭載されているか否かです。一般ユーザーが独自にラベル定義を作成・使用することはできません。

5.4.2 管理サーバーの設定はどの様に行いますか？

管理サーバーの設定は、Webブラウザで操作する管理画面（Webメンテナンス画面）を用意しています。管理サーバーの基本設定、検索対象サーバーや検索結果のメール通知設定、ユーザー管理機能に関する設定やモジュール配信などの各種設定を行うことができます。

5.4.3 取得できる操作ログの種類を教えてください

操作ログ取得は、SecureCube / Labeling Enterpriseのみに備わった機能で、クライアントのOfficeアプリケーション内で行われた操作を記録し管理サーバーへ集約します。記録アクションは「開く」「保存」「印刷」「ラベル変更」の4種類です。特にラベル変更は本製品でしか取得できない操作ログとなります。（記録できる操作ログは、Officeのアドインとして動作する本製品の特性上、アプリケーションの中で発生したイベントに限られます）

5.4.4 クライアントと管理サーバーの通信方式を教えてください

クライアントと管理サーバーは、BITS（Background Intelligent Transfer Service）を利用して通信しています。BITSは、ネットワークの空き状況を判断して送信を行う方式で、トラフィック集中を防ぎながら効率的に転送を行います。通信ポートは既定の設定で80/tcpを利用しますが、任意ポートの設定も可能です。

5.4.5 クライアントへのモジュール配布方法について教えてください。

Webメンテナンス画面を通じて、アップデートモジュール（クライアント、ラベルテンプレート、設定ファイル等）の設定ができます。クライアントマシンは、起動後30分前後でアップデートモジュールの有無を確認し、自身が保有するものより新しいモジュールが存在する場合、ダウンロードして更新を行います。クライアントマシンがシャットダウンされずに起動し続けている場合にも、前回のアップデートから24時間後にアップデートモジュールの確認が同様に行われます。

5.4.6 クライアントが、管理サーバーへログを送信するタイミングを教えてください。

通常、Webメンテナンス画面にて設定した検索時刻にてログ送信も同時に行われます。また、クライアントのラベル検索サービスを起動して「今すぐログをアップロードする。」を実行すれば、適宜ログを送信することもできます。

5.4.7 管理サーバーのIPアドレスを変更した場合の影響を教えてください

クライアントは、管理サーバーのIPアドレスを設定ファイルに保持しているため、クライアントの設定ファイルを変更する必要があります。サーバーのIPアドレス変更に先んじて、Webメンテナンス画面より新IPを設定した設定ファイルの配布設定を行い、配布が完了した後に管理サーバーのIPアドレスを変更してください。

5.4.8 管理サーバーのホスト名を変更した場合の影響を教えてください

管理サーバーのホスト名を変更した場合は、SecureCube / Labeling Enterprise Serverを再インストールする必要があります。

5.4.9 自動メール通知機能について教えてください

あらかじめ定義した条件に基づきデータベースの検索を行い、結果をメールで通知する機能です。通知内容はSQLで設定を行い、任意の管理台帳情報、ログ情報を指定することが可能です。一例として、「極秘ラベルを「公開情報」ラベルに変更したユーザー」や「極秘ラベルの設定されたファイルをローカルドライブに保存されているマシンの一覧」などが設定可能です。すぐに試せるサンプルテンプレートも収録しています。

5.4.10 統合管理台帳からクライアントのファイルのラベルを直接変更することはできますか？

いいえ、できません。統合管理台帳では各クライアントの台帳情報の参照のみ可能です。各クライアントに限定した台帳も作成可能ですので、この台帳情報を各ユーザーへ通知して是正処置を促す、といった運用は可能です。

5.4.11 統合管理台帳とログ参照機能は、ユーザーごとに閲覧範囲を制限できますか？

はい、可能です。手動で設定する方法とActive Directoryと連携する方法の2通りがございます。閲覧範囲を設定すると、ログインユーザ毎に台帳・ログの参照範囲の条件設定が、そのユーザーの権限に応じたものとなります。例えば、営業部長アカウントでログインすると営業部およびその所属マシン、開発課長アカウントでログインすると開発課およびその所属マシン、のみが検索対象として選択可能となります。

- ・手動設定

ユーザーと所属部門の関係を手動で設定します。人事異動が発生した場合、再度設定を行う必要があります。Active Directoryを導入されていないお客様、比較的小規模で運用される場合に有効です。

- ・Active Directory連携

Active Directoryのオブジェクトと連携し、各ユーザーの権限に応じて台帳・ログの参照範囲を自動で設定します。Active DirectoryのOUやグループ設定が、一定のフォーマットである必要があります。

5.4.12 エクスプローラー拡張機能について教えてください

エクスプローラーでSecureCube / Labelingの機能を利用するためのオプションモジュールです。主な機能として、右クリックメニューからラベル設定を行う機能、設定されているラベルに応じたアイコン表示変更などがあります。本機能をお使いいただくためには、SecureCube / Labeling Standard、およびSecureCube / Labeling Enterpriseをご購入いただいたうえで、エクスプローラー拡張機能を別途インストールする必要があります。2011年7月現在、エクスプローラー拡張はWindows XPのみ対応しております。

6 PDFファイルへのラベル設定について

6.1 PDFファイルへのラベル設定について

PDFファイルへのラベル設定を行うには、SecureCube / Labeling Personal <PDF Plug-in>またはSecureCube / Labeling Personal for PDFの導入が必要となります。前者は、Adobe Acrobatにアドインして動作するアプリケーションです。後者は、Adobe Acrobatをお持ちでないユーザー向けのスタンドアロンのアプリケーションです。

6.2 PDFファイルへのラベル設定を行う場合には、SecureCube / Labelingのどのバージョンを購入する必要がありますか？

SecureCube / Labeling Personal、SecureCube / Labeling Standard、SecureCube / Labeling Enterpriseのいずれかの有償バージョンをご購入いただく必要があります。(SecureCube / Labeling Personal 無償版には対応していません)

6.3 PDFファイルへラベル設定する際の操作性について教えてください

動作・機能および操作性はSecureCube / Labeling Personalと同様となります。

6.4 SecureCube / Labeling Personal for PDFのバージョン確認方法を教えてください

コントロールパネルからバージョン番号を確認してください。(注：[ヘルプ]-[バージョン情報]で確認できるバージョンは実行ファイル単体のバージョン情報であり、モジュール全体のバージョン番号ではありません)

6.5 Officeでラベル設定したファイルをPDFに変換した場合、ラベル情報は引き継がれますか？

いいえ、ラベル情報は引き継がれません。表示されているラベルイメージは依然として表示されますが、単なるイメージデータとなります。

6.6 ラベルが二重に設定されているように見えます

ラベル設定済みのOfficeファイルをPDF変換すると、ラベルイメージが単なるイメージデータとなります。そのため、PDFファイルとしてラベル設定をしていないにも関わらず、ラベルが設定されているように見えます(注：実際にはこの段階ではラベル情報は設定されていません)。この状態でラベル設定を行うと、見た目上二重にラベルが設定されるように見えます。このような場合は、Officeファイルでラベルを非表示にしたあとPDFを作成してください。

6.7 Adobe AcrobatでPDFファイルを開いたら、色がくすんで(灰色がかって)表示されます

Adobe Acrobat8 および9にて作成したPDFファイルにラベルを設定した場合、色がくすんで(灰色がかって)表示される場合があることを確認しております。本事象は、Adobe Acrobatの「透過ファイルを設定すると、画面表示の色がくすむ」という仕様に起因することを確認しております。画面表示上は色がくすんでしましますが、実際のファイルや印刷した場合への影響はございません。

7 他社製品との連携について

7.1 ファイル内に設定されている連携文字を確認する方法を教えてください。

PowerPoint 2007 で確認する方法について説明します。

- ・新規ファイルを開き、上書き保存でラベルを付けてください。
- ・メニューの[ホーム]-[編集]にあります、「選択」の▼をクリックし、「オブジェクトの選択と表示」をクリックしてください。
- ・「_TAGLabel_」が、非表示(目が付いていない)になっていることが確認できます
- ・「_TAGLabel_」を、表示(目が付いている)に設定し、CTRL+Aですべてのオブジェクトを選択します。左上に、透明の枠が選択できるようになります。

この透明な枠内の文字が「連携文字」です。文字サイズ・色などを変更し、確認することが可能です。

7.2 連携文字を設定するにはどうすればよいのですか？

ラベルテンプレートの[項目値]-[値名]、[項目値]-[連携文字]に設定された値が、ドキュメントの中にオブジェクトとして設定されます。また、[項目値]-[値名]は、ドキュメントのプロパティにキーワードとして設定されます。外部製品・ソリューションなどは、これらの値を取得することで連携を行うことができます。連携後のアクションは、連携製品側で設定していただく必要があります。

The image shows two screenshots illustrating the integration of labels and keywords between SecureCube Labeling and Microsoft PowerPoint 2007.

Top Screenshot: SecureCube Labeling

大分類	文書種類	項目	項目値	値-値相関性	文書種類-値相関性	文書種類-項目相関性	テンプレート属性
PANY	3	社名	0	社内	社内	社内	役員以外は、当該文書を開覧す
IDENTIAL	1	極秘A	0	極秘B	CONFIDENTIAL	客および競争力維持に関する最	
IC	4	公開情報	0	NO-FRONT	公開情報	全ての人が、閲覧可能な文書	
RESTRICTED	2	関係者限	0	関係者限	関係者限	特定の部署・プロジェクト、または特	

Bottom Screenshot: Microsoft PowerPoint 2007

The screenshot shows the 'Properties' window for a slide, with the 'Keywords' field containing the text: `<LabelText>極秘A</labelText>`. A yellow callout box points to this field with the text: **プロパティ連携 キーワード**.

Another yellow callout box points to the text `CONFIDENTIAL` on the slide, stating: **連携文字は無色透明・フォント2に設定されている**.

A third yellow callout box points to the text `極秘B` on the slide, stating: **全文検索連携 キーワード**.

A fourth yellow callout box points to the text `_TAGLabel_` on the slide, stating: **「_TAGLabel_」オブジェクトは、デフォルトで非表示に設定されている**.

7.3 連携できる製品を教えてください

各種セキュリティ製品との連携を随時図っております。製品名等については詳細が決まり次第ホームページにてお伝えさせていただきますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

■SecureCube / Labeling と連携する製品一覧 (会社名 50 音順) 2011 年 7 月現在

<情報漏えい対策ソリューション>

会社名	製品名	説明
ウェブセンス・ ジャパン (株)	Websense Data Security Suite http://www.websense.com/content/Regional/Japan/DataSecuritySuite.aspx	<u>機密情報の流出重要データの検知や監視・保護・管理するDLP統合ソリューション</u> 企業内セキュリティポリシーを自動的に実行することでリアルタイムに機密情報流出の検知や監視・保護・管理を行い、情報漏えいの防止が可能
CODE GREEN NETWORKS, Inc.	TrueDLP http://www.codegreennetworks.jp/products	<u>非常に簡単な設置性と容易な管理機能を備えた完璧なソリューション</u> 非常に低いトータル購入コストで、機密情報の正確な検知性と確実なポリシーに基づくブロック機能を提供し情報漏洩を防止することが可能
(株) シマンテック	Symantec Data Loss Prevention http://www.symantec.com/ja/jp/business/data-loss-prevention	<u>社内外にある機密データを検出・監視・保護する統合ソリューション</u> 機密情報を特定、保護することにより、データ漏えいや紛失を防ぎ、法令遵守を示し、外部からの攻撃のリスクを減少
トレンドマイクロ (株)	Trend Micro Data Loss Prevention http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmdlp/	<u>守るべき機密情報を漏えいさせないDLPソリューション</u> 個人情報などのテンプレート実装により機密情報定義の容易な管理ポリシー違反時のリアルタイムアラートによる従業員のコンプライアンス教育効果
日本アイ・ビー・ エム (株)	Fidelis XPS http://www-935.ibm.com/services/jp/index.wss/offerfamily/its/b1332977	<u>ネットワークに特化し、確実に情報漏えいを遮断できる数少ないネットワークDLPソリューション</u> 社内のネットワークを流れる外向き通信の中身をチェックし、機密情報や個人情報などを含んだデータ漏えいにつながる可能性のある通信をブロック
フォーティネット ジャパン (株)	FortiGateシリーズ http://www.fortinet.co.jp/products/fortigate/	<u>複数のセキュリティ機能を 1 台の筐体に統合したソリューション</u> 導入・管理コスト増大、管理工数の負担、耐障害性などの問題を解決し、「コスト削減」を実現、独自開発の「FortiASIC」により高パフォーマンスを実現

マカフィー (株)	McAfee® Host Data Loss Prevention http://www.mcafee.com/japan/products/data_loss_prevention.asp	<u>最重要データの転送に対する完全な可視性と制御を実現するDLPソリューション</u> 職場・自宅・出張先での機密データのアクセスや入出力を制御・追跡し、媒体からのデータ転送を防ぐ
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

<メールソリューション>

会社名	製品名	説明
(株) HDE	HDE Mail Filter http://www.hde.co.jp/mf/	<u>メール暗号化・メール誤送信防止を実現するソリューション</u> 社外秘メールの削除/差戻しや上長承認要求などのメール誤送信防止が可能。また、送信後にもラベル付ファイルの事後検索も可能
キャノンITソリューションズ (株)	GUARDIANWALL http://canon-its.jp/guardian/product/gw/	<u>電子メールからの情報漏えい対策ソリューション</u> 個人情報や知的財産の漏えいを防ぐメールフィルタ機能と、内部統制やEディスカバリー対応に重要な役割を果たすメールの可視化/保全を実現するメールアーカイブ・フィルタリングが可能 「GUARDIANWALL」の技術を応用して作られたWebフィルタリングソフトもご提供
(株) CSK Winテクノロジー	PlayBackMail http://www.cskwin.com/Products/PlayBackMail.html	<u>電子メール誤送信防止ソリューション</u> 宛先間違いやファイルの添付間違い、ダイレクトメールの送信時に大量の宛先を指定することで起こる情報漏えいを防止
デジタルアーツ (株)	m-FILTER http://www.daj.jp/bs/mf2/	<u>日本版SOX法に対応した情報漏洩対策ソリューション</u> レポーティング機能とログ管理機能を備えた基本機能に加え、電子メール送受信制御・メール保存と検索・スパム対策を組み合わせることで、ニーズに合った最適な機能構成にすることが可能

<Webソリューション>

会社名	製品名	説明
キャノンITソリューションズ (株)	WEBGUARDIAN http://canon-its.jp/guardian/product/wg/	<u>情報漏えいを防止するWebフィルタリングソフト</u> GUARDIANWALLの技術を応用、Webの閲覧制限だけではなく、外部に送信するデータのコンテンツチェックやアーカイブ機能を搭載し、内部統制の強化を容易に実施

<印刷制御製品>

会社名	製品名	説明
京セラミタ (株)	TASKGUARD ID Printing http://www.kyoceramita.co.jp/products/other2/taskguard/	<u>セキュリティプリント環境と出力コスト削減を実現するソリューション</u> マルチベンダに対応し、クライアントPCのプリンタードライバーも変更不要、今お使いの環境および使用感を変えることなく容易に導入が可能

<資産管理製品>

会社名	製品名	説明
エムオーテックス (株)	LanScope Cat 6 http://www.motex.co.jp/cat6/	<u>シェアNo.1 ネットワークセキュリティソフト</u> LanScope Catは住基ネットや個人情報保護法施行、そして内部統制報告制度などに対して、ネットワークセキュリティツールとして求められる機能をより早い段階で開発してきた常に時代のリーディング商品
クオリティ (株)	QND Plus / QAW http://www.quality.co.jp/products/QND/	<u>PC管理工数の軽減・効率化 PCセキュリティ対策を強化</u> 情報システム管理者の課題解決ツールとして、PCの台数/構成把握から台帳作成、ソフトウェアの遠隔配布、脆弱性監査、内部統制対策、電気代削減まで、時代のニーズに合わせた必要な機能を追加。本ツールの導入によって、PC管理工数の軽減・効率化、PCセキュリティ対策を強化

<NAS>

会社名	製品名	説明
(株) アイ・オー・データ機器	HDL-Z4WSA / HDL-Z2WSAシリーズ http://www.iodata.jp/product/hdd/businessnas/hdl-z4wsa/	<u>Windows Storage Server 2008 R2を搭載しCPUにIntel® Atom™デュアルコアプロセッサを採用した、ハイパフォーマンスなNAS</u> Active Directoryとの連携が可能で、既存環境への追加に最適。RAID 5を構成可能なので、万が一のハードディスクの故障時にもデータを守ることが可能
エレコム (株) ロジテック (株)	LSV-5S4CWシリーズ http://www2.elecom.co.jp/storage/hd/nas/lsv-5s4cw/index.asp http://www.logitech.co.jp/nas/lineup/13.html	<u>ファイル共有に関する各種管理もクライアントPCからリモートで可能、管理者の負担を大幅に軽減するCube型NAS</u> RAID5 システムを含めRAID構成パターンの変更が可能、ホットスワップに対応し万一の故障発生時にもシステムを停止することなくメンテナンスが可能

8 申込・契約等について

8.1 試用したいのですが、どうすればよいのですか？

下記ホームページより、SecureCube / Labeling Personal（無償版）をダウンロード、およびインストールすることができます。ぜひ、ご利用いただきますようお願いいたします。

http://www.nri-secure.co.jp/service/cube/labeling_dl.html

上記エディションは一部機能制限がございますが、本格的に導入をご検討されているお客様向けに、機能制限の無い、SecureCube / Labeling Standard（評価版）エディションをご用意しております（ただし、60日限定のご利用となります）。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

8.2 試用期間を終了した後、そのまま製品版として利用することは可能ですか？

試用版をアンインストールし、製品版をインストールしなおす必要があります。

8.3 詳しい話を聞きたいのですが、どうすればよいのですか？

弊社担当よりご説明やデモを行わせていただきますので、下記までご連絡をいただきますようお願いいたします。

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 ソリューション事業部 SecureCube / Labeling担当

TEL : 03-6274-1011

E-mail : info@nri-secure.co.jp

9 サブスクリプションについて

9.1 サブスクリプションの定義を教えてください。

弊社ではサブスクリプションを、「ソフトウェア使用权」と位置付けており、SecureCube / Labelingをご利用になるユーザー数分をご購入いただく必要がございます。

サブスクリプションは、1年（12ヶ月）単位でのご契約期間になります。

9.2 1つのサブスクリプションにおいて、複数の管理サーバーをインストールしてもいいですか？

（例：部門ごとに管理サーバーをインストールする、など）

SecureCube / Labelingはサブスクリプション数でのご契約であり、インストールする管理サーバーの台数によって、契約内容が変更となることはございません。そのため、1つのご契約において複数の管理サーバーをインストールいただくことは問題ございません。

例として、1000 サブスクリプションのご契約において、200名ずつの5つの部署でそれぞれ1台ずつの管理サーバーをインストールいただくことが可能です。

※ただし、SecureCube / Labeling Enterpriseにおいて、複数台の管理サーバー間における連携機能はございませんので、それぞれ独立した管理サーバーでのご利用となります。（2011年7月現在）

9.3 1000人の社員がいますが、SecureCube / Labelingを利用するユーザーが100人の場合、購入すべきサブスクリプション契約はいくつですか？

1000人のユーザーのうち、100人がご利用される場合は、100サブスクリプションになります。

ただしこの場合、残り900人の社員様の環境には、SecureCube / Labeling がインストールされていないこととなりますので、その社員様の端末内のファイル管理台帳は作成することができません。仮に「極秘」ラベルが設定されたファイルのコピーがその端末に存在していたとしても、管理サーバー側で台帳管理の対象とすることができません。

そのため、直接ラベルを設定するなどの作業を行わないユーザーの端末においても、サブスクリプションをご購入の上、当製品をインストールしていただき、機密ファイルの管理にお役立ていただくことをお勧めいたします。

ただし、以下のような例の場合などにおいては、別途ご相談ください。

例) ユーザー数より、SecureCube / Labelingをインストールするマシンの台数が多い場合

ユーザー数が1000名、端末台数が1000台に加え、ファイルサーバー20台にも、当製品をインストールし、台帳管理を行いたい場合

（ユーザー数が1000名に対し、当製品をインストールする台数が1020台）

9.4 SecureCube / Labeling Enterprise 管理サーバーについて、サブスクリプションとは別にライセンス等を購入する必要がありますか？

SecureCube / Labeling Enterpriseは、ユーザー数に応じたサブスクリプション数にて価格が決まります。そのため、サブスクリプション価格内に、管理サーバーの使用権も含まれております。

お客様の組織内で部門ごとに管理サーバーをインストールするなど、1社内で複数の管理サーバーをご利用いただくことも可能です。

9.5 2年目以降のサブスクリプション価格はどうなっていますか？

2年目以降のご契約更新の際のサブスクリプション価格は、初年度と同額になります。

ただし、前年度のご契約期間中、またはご契約更新時にユーザー数の増減があり、サブスクリプション単価が変更となる場合は、変更後のサブスクリプション単価にて、ユーザー数分のご契約を変更いただきますようお願いいたします。

9.6 複数年分のサブスクリプションをまとめて購入することは可能ですか？

複数年分のサブスクリプションをまとめてご購入いただくことも可能です。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

9.7 SecureCube / Labeling Personal のライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。

SecureCube / Labeling Personalのライセンス/サポート費用は、「レンジ内定額」としております。

例えばユーザー数が450名のお客様ですと、「ユーザー数：100～499」レンジの価格が適用されます。仮に、450名のユーザー数が480名に増えたとしても、ユーザー数レンジに変更が無ければ、価格はそのままであり、追加の費用等はございません。

※ただし、ユーザー数の増加で、レンジが変わる場合（例：450名のユーザー数が500名を超えた場合）は、年額の費用が変わりますので、変更前の年額と変更後の年額の差額を頂戴いたします。

なお、SecureCube / Labeling Personalの価格には、SecureCube / Labelingに関するサポートに関する費用も含まれておりますが、新規にお問い合わせいただける事案については、**1カ月当たり2事案**までとさせていただきます。（当該月にお問い合わせのご利用が無かったとしても、事案数は翌月以降に繰り越すことはできません）

※なお、弊社製品の不具合に起因するお問合せの場合、本事案数には計算いたしません。

※SecureCube / Labeling Standard、およびSecureCube / Labeling Enterpriseのライセンス/サポート費用については、お問い合わせいただける事案数の制限はありません。

9.8 SecureCube / Labeling Standardのライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。

SecureCube / Labeling Standardのライセンス/サポート費用は、「ユーザー数×単価」としております。単価は、ご利用いただくユーザー数に応じて単価が変わる「変動型単価」です。例えば、「ユーザー数：~499名」と「ユーザー数：1000名~」を比べる場合、1ユーザー当たりの価格は「ユーザー数：1000名~」が低くなります。

なおStandardエディションにおいては、ご要件に応じて「Windows サーバーオプション」を選択する事が可能です。本オプションはサーバー毎のご契約となりますので、ご利用されるサーバー数が変わらない場合は、ユーザー数が増えた場合でも価格に変更はございません。

※Windows サーバーオプションの詳細は、[4.4 SecureCube / Labeling Standard Windowsサーバーオプションとは何ですか?]をご確認ください。

9.9 SecureCube / Labeling Enterpriseのライセンス/サポート費用の考え方について教えてください。

SecureCube / Labeling Enterpriseのライセンス/サポート費用は、「ユーザー数×単価」としております。単価は、ご利用いただくユーザー数に応じて単価が変わる「変動型単価」です。

例えば、「ユーザー数：~499名」と「ユーザー数：1000名~」を比べる場合、1ユーザー当たりのライセンス/サポート費用（単価）は「ユーザー数：1000名~」が低くなります。

10 サポートについて

10.1 サポートの時間や方法について教えてください。

SecureCube / Labelingのサポート時間と方法は、以下のとおりです。

サポート受付時間：弊社営業日（平日※）の 9:00-17:00

（※）弊社の休業日：暦上の休日（土曜、日曜、祝日）及び、年末年始休業日（12月31日～1月3日）

サポート内容：・メールによるQ&A対応

- ・ソフトウェア不具合連絡の受付、および対応策の提示、または暫定パッチモジュールの提供（説明書含む）
- ・セキュリティホール対応モジュールの提供（説明書含む）
- ・機能改善を含むバージョンアップモジュールの提供（マニュアル改訂版の提供含む）

※メジャー、マイナーアップデートの双方を含みます。

機能改善の範囲を超える新機能のご提供は個別にご相談させていただきます。

オンサイトでの対応はありません。

サポート方法：メールにて、サポートを受け付けます。

メールアドレスについては、ご契約時に弊社より送付いたしますサブスクリプション証書をご覧ください。お問い合わせ内容によっては、電話による対応をさせていただく事もございます。また、お問い合わせへの回答は翌営業日になる事もございますので、あらかじめご承知置きください。

10.2 SecureCube / Labeling導入後のサポートには、オンサイトサポートメニューはありますか？

SecureCube / Labelingのサポートでは、弊社によるオンサイトサポートは行っておりません。

10.3 SecureCube / Labeling Personal（無償版）を利用してありますが、製品に関する問い合わせをNRIセキュアテクノロジーズに行えますか？

SecureCube / Labeling Personal（無償版）をご利用のお客様は、誠に申し訳ございませんが、弊社へのお問い合わせをお受けいたしかねます。お問い合わせ等によるサポートをご希望のお客様は、別途、SecureCube / Labeling Personal、Standard、Enterpriseの何れかをご契約ください。

10.4 SecureCube / Labelingを契約した場合は、それぞれの利用者から直接NRIセキュアテクノロジーズに問い合わせることはできますか？

サポートをご利用いただける方は合、事前にご登録させていただいたご担当者様のみとさせていただきます。詳しくは、弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

10.5 各バージョンのサポート終了ポリシー（EoSポリシー）を教えてください。

各バージョンのサポートポリシーの考え方は、以下のとおりです。

(SecureCube / Labeling Personal、Standard、Enterprise、Personal for PDF、Personal <PDF Plug-in>共通)

■バージョンの数字の読み方

Version A.B.C.D (例: 1.2.3.4)

A:メジャーバージョン：OSの切り替え、稼動する基盤・ミドルソフトウェアの切り替え、機能の全面刷新など、大幅な機能改善の場合に更新されます。

B.C:マイナーバージョン：オプション機能の追加や、部分的な機能変更・追加、不具合対応により、機能改善する場合に更新されます。

D:リビジョン：不具合及びセキュリティホール対応の場合に更新されます。

■マイナーアップデート時

最新のマイナーアップデート版がリリースされた際、Bの数字が2世代前のものまでをサポート対象とし、3世代前のものについては、自動的にサポート終了となります。

例) 1.0.x.x, 1.1.x.x, 1.2.x.x がすでにリリースされ、新たに、1.3.x.xがリリースされた場合
⇒自動的に、1.0.x.xはすべてサポート終了となります。

■メジャーアップデート時

メジャーアップデート時は、その都度、旧バージョンに関するEoSポリシーを、発表いたします。

10.6 ラベルテンプレートのカスタマイズを依頼することはできますか？

はい、弊社にてカスタマイズを行うことも可能です。お客様の環境やサポート契約の有無等によって状況が異なりますので、サブスクリプション証書に記載されている弊社営業、または販売パートナー様までご連絡ください。

10.7 導入にかかる費用はどのくらいですか？

SecureCube / Labelingのライセンス、およびサポートに関する費用については販売パートナー様、または弊社へお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 ソリューション事業部 SecureCube / Labeling担当

TEL : 03-6274-1011

E-mail : info@nri-secure.co.jp

NRIセキュアテクノロジーズ

〒105-7113 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

TEL : 03-6274-1011

URL : <http://www.nri-secure.co.jp/>

E-mail : info@nri-secure.co.jp